

「木材総合カスケード利用」事業化検討 基本合意書調印式



「木材総合カスケード利用」事業化検討 基本合意書調印式

平成 28 年 11 月 19 日日南町役場において「木材総合カスケード利用」事業化検討について、大建工業株式会社（本社：大阪市北区、建築資材メーカー）、日南町森林組合、株式会社オロチ、日南町の四者は鳥取県知事に立会いいただき基本合意書調印式を開催いたしました。

これは日南町の木材資源の有効活用を図る為、共同で日南町における「木材総合カスケード利用」の具体的な事業化に向けた検討を進めることについて基本合意したものです。

今後は木材資源の有効活用として、今まで山に残されていた小径木、曲がり木等を搬出、或は製材端材等を利用し木材の高付加価値商品の開発等の事業化に向けた検討が進められていきます。

◆目次◆

- | | |
|---|---|
| ●「木材総合カスケード利用」事業化検討
基本合意書調印式 ……………表紙 | ●平成29年度森林整備事業説明会と
間伐等補助事業申請受付について……………5 |
| ●日南町森林資源活用計画、
山林意向調査について……………2 | ●日南町林業祭り開催……………6 |
| ●FSC® 森林認証について ……………3 | ●理事会開催報告 ……………8 |
| ●山で働く林業機械、
米子木材市場生山支店市況 ……………4 | ●日本財団鳥取県人材育成プログラム
「平成28年度オーストリア林業研修」報告…9 |
| | ●森林組合作業班紹介、職員募集他 ……………10 |

Green Community

グリーンコミュニティ

日南町森林組合広報誌

日南町森林組合

鳥取県日野郡日南町生山 423-2
TEL(0859)82-0130
FAX(0859)82-0321
E-mail:info@n-forest.jp.net



<http://n-forest.jp.net>

山林意向調査について

この度は、組合員の皆様に「山林意向調査票」をお送りし、現在の山林管理状況、今後の管理についてのお考え、後継者の有無、施業のご希望、また森林組合等へのご意見、ご要望等をお聞きしております。

多数の皆様よりご回答・返信を頂きありがとうございました。現在集計作業を行っておりますが、より多く皆様の今後の山林管理に対する、お考え、ご意見、ご要望、また、お困りごとなどをお聞きし、組合の今後の取り組みについての指針作りを行いたいと考えております。

ご回答頂いていない皆様には誠にご無理申しあげますが、「山林意向調査票」に目を通していただきまして、ご回答・返信頂きます様お願いいたします。調査票を紛失されました方はご連絡いただければお送りいたします。また、お分かりにくい事などはご遠慮なく組合へお問合せ頂きたいと思っております。主旨をご理解いただきまして、ご協力いただきます様お願い申し上げます。ご返信頂きました「山林意向調査票」は取りまとめ皆様方へご報告申し上げます。

◎お問合せ 日南町森林組合 森林計画課 藤原・松本 (TEL 0859-82-0130 FAX 0859-82-0321)

日南町森林資源活用計画

森林組合では日南町の森林を環境に配慮した適正な森林管理を行うことにより、環境の森づくりの推進、資源の有効活用、将来の安定した資源活用が出来るよう皆伐再生林の仕組みづくりなど日南町林業の発展振興を図るため、「日南町森林資源総合活用計画」を作成いたしました。この計画について次号のグリーン・コミュニティにてご案内いたします。



※平成29年3月頃の予定で、「山林意向調査」集計結果のご報告と「日南町森林資源活用計画」のご案内、また現在「森林資源活用計画」を進めていく上で行なっている施業の集約化についての説明会を行ないます。各地域（小部落等）で行なわれる会合（総会など）等で多少の時間をお借りし、説明させていただきたいと思っております。差し支えなければ自治会長、役員の皆様よりご連絡いただきます様お願いいたします。



表紙の言葉

「木材総合カスケード利用」とは？

木材を建材等の資源として利用した後、ボードや紙等の利用を経て、最終段階では燃料として利用すること。森林の維持管理から木材を伐採・搬出し、製材品、集成材、合板等として活用することももちろんのこと、製材端材や間伐残材をチップとして繊維板や燃料などにも利用することで、木材という貴重な資源を総合的・段階的に無駄なく、効率的に、余すことなく利用する事をいいます。

FSC® 森林認証について

FSC森林認証は現在、世界82カ国1,427件、面積191,773,307ha、日本では33件、面積393,734haの認証林があります。COC認証（加工・流通）では世界で120カ国31,273件、日本は1,091件です。日南町森林組合はFSC認証を31番目に取得し、面積は現在19,529haあり日本で5番目の広さです。FSC森林認証へご参加いただいていない山林所有者の方は是非お申込みいただきますようお願いいたします。

年次審査報告

平成28年10月5、6日にアマタ株式会社小川直也氏、東京大学白石則彦氏を迎え年次監査を行いました。

今回の審査では丁寧な作業現場で今後も環境に配慮した作業を続けるように期待している、成熟した山があるので循環の生産林を行うことと講評を頂きました。

指摘事項

- ・ 沢や谷に枝葉を集積させないように注意すること
- ・ 林業機械の使用によりオイルなどが土壌に落ちていることがあるので気を付ける事
- ・ 立木の間隔をなるべく等間隔にすること
- ・ 今後事故が起きないような安全対策を講ずること

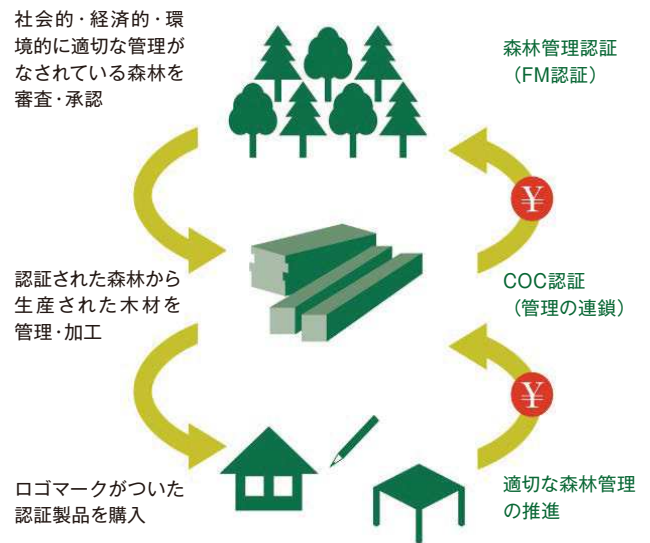
FSC®認証 10の原則

- ①法律や国際的な取り決め、そしてFSCの原則を守っている
- ②森林を所有する権利や利用する権利が明確になっている
- ③昔から森に暮らす人々（先住民）の伝統的な権利を尊重している
- ④地域社会や労働者と良好な関係にある
- ⑤豊かな収穫があり地域からも愛され利用される森である
- ⑥多くの生物が住む豊かな森である
- ⑦調査された基礎データに基づき森林管理が計画的に実行されている
- ⑧適切に森林管理を行っているかどうかを定期的にチェックしている
- ⑨貴重な森林を守っている
- ⑩人工林の形成が自然の森に影響を及ぼしていない

FSC®認証森林認証の仕組み

森林から加工・流通をつなぐFSC認証製品が出来るまでのすべての事業者を、独立した第三者の認証機関により、客観的に審査・認証する透明性の高い森林認証です。世界の多くの自然保護団体や企業などから、信頼性の高い認証として認識されています。

FSC®森林認証の流れ



FSC マークのついた製品を使うことは自然破壊につながる違法伐採などの木材を排除し適切な森林管理を応援することになります。

(ラベル使用例)

山で働く林業機械

これから林業機械についてシリーズで紹介していきます。

今回はハーベスタを紹介します。ハーベスタは林業機械の中でも高性能林業機械に入ります。高性能林業機械とは2つ以上の林業の作業が兼務できる機械です。

このハーベスタは伐倒・枝払い・玉切りの作業をしてくれる機械で、1台で3役もこなす優れたものです。作業道上でアームを延ばし作業を行ないます。

伐倒：立ち木を切り倒すこと。



枝払い：伐倒した木の枝を切り落とすこと。



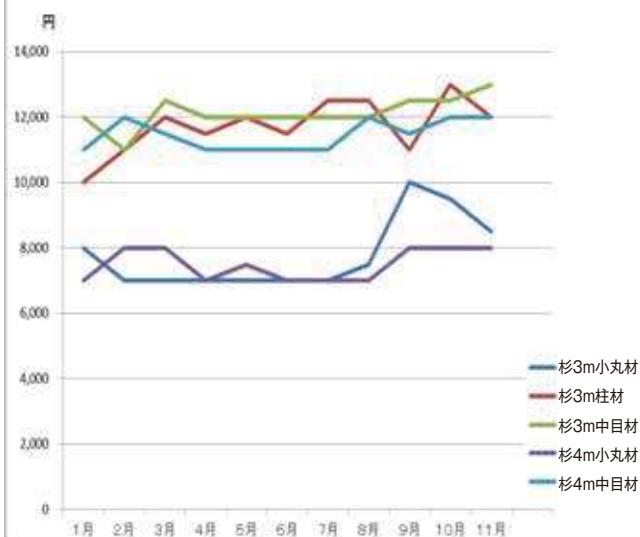
**玉切り：伐倒した木を利用しやすい長さに切り丸太を作る。
(3m、4mの長さに切ることが多い)**



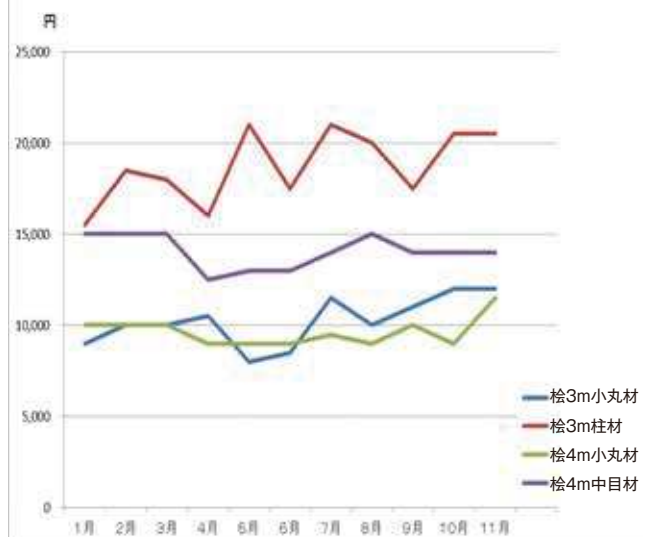
チェーンソーを使用して伐倒から玉切りまで作業するとおおよそ15分、ハーベスタで作業すると2～3分です。仕事の早さが全く違います。枝払いと、玉切りが一度に出来ます。また操作は、操縦席で行なうのでチェーンソーで手足を怪我する心配はありません。また力仕事をする必要がありません。但し、操縦技術が必要です。

米子木材市場生山支店市況（直材単価）

平成 28 年米子木材市場生山支店市況（杉）



平成 28 年米子木材市場生山支店市況（桧）



平成 29 年度森林整備事業説明会と 間伐等補助事業申請受付について

森林組合では平成29年1月24日～30日に平成29年度森林整備事業説明会を行います。

また、説明会終了後、造林保育作業や間伐作業、作業道開設などの作業の計画を対象に補助申請受付を行います。

作業を計画されている方は計画箇所の子・地番・樹種・林齢等を調べていただき、最寄りの会場に必ず印鑑をご持参のうえ、申請を行って下さい。計画が無ければ補助金は受取れません。当日ご都合の悪い方は1月30日以降2月10日迄に森林組合事務所にて補助申請を行って下さい。

なお、積雪等の事情により、申請会場にお越し頂けない場合は、森林組合にご連絡頂きますようお願いいたします。

実施月日	校 区	受付時間	会 場
1月24日(火)	多里校区	9:00~11:30	桜ヶ瀬会館
	福栄校区	13:30~16:00	福栄地域振興センター
1月25日(水)	山上校区	9:00~11:30	山上地域振興センター
	日野上校区	13:30~16:00	日南町林業総合センター
1月26日(木)	石見校区	9:00~11:30	石見地域振興センター
1月27日(金)	阿毘縁校区	9:00~11:30	阿毘縁地域振興センター
1月30日(月)	大宮校区	9:00~11:30	大宮地域振興センター

日南町林業祭り開催

平成28年11月26日（土）晩秋の秋晴れの中、日南町林業祭り（主催 日南町林業祭り実行委員会）が行なわれました。

午前は日南町総合文化センターで多目的ホールにおいて、町内の林業関係者約90名が参加され特別研修会、森林フォーラム、意見交換会が行なわれました。午後は道の駅にちなみ日野川の郷の裏特設会場にて開催されました。今回は日南町で初開催の日南伐木チャンピオンシップ競技を行いました。今回は日南町で初開催の日南伐木チャンピオンシップ競技を行いました。また、ミス日本みどりの女神みどりの広報大使飯塚帆南さんに来場頂き意見交換会及び伐木チャンピオンシップ競技に参加していただきました。

特別研修会

・緊急通報の実際

江府消防署片岡署員から山林作業場での事故があった場合、消防署へどのようにわかりやすく通報したらよいかを学びました。

・事業所の安全作業への取組、安全器具について紹介

株式会社グリーン・シャイン面田取締役より安全対策実施項目など安全への取り組みの紹介がありました。また森林組合木下職員より安全器具の防護スポンの必要性について紹介をいたしました。

森林フォーラム

森林組合藤原職員よりJ・V・E・R制度、FSC®森林認証の説明について、役場農林課島山職員によるJ・V・E・R制度、FSC®森林認証を活用した道の駅にちなみ日野川の郷の取り組みについての講演がありました。



「日南町の取組と将来について」意見交換会

飯塚帆南ミス日本みどりの女神、増原聡日南町長、平田組合長、森英樹株式会社オチ社長、久代善平森林組合作業班長、須山里美株式会社グリーン・シャイン職員から、それぞれの取組や将来について意見交換を行なっていたされました。

飯塚氏

日南町の取組で適切に管理された日南町の木が普及していく事を期待している。

増原町長

FSCを取得して25の自治体の長でFSCを完全に使用した東京オリンピック・パラリンピックになるように働きかけをしていく。

平田組合長

搬出量の増大と、有効活用、皆伐再造林に向けて循環の森づくりの仕組みを作ること。適切な森林整備を行なう環境の森づくりを行い、FSC森林認証林を拡大していきたい。

森社長

皆さんの知恵を有効に使い次世代に循環できる山づくりにつなげFSC、環境そして地域が一体となっていけるような丸太からの加工を行なっていきたい。

久代班長

搬出システムをしっかりと作り上げ生産性を上げていきたい。

須山職員

私は里山保全活動によって森林に興味を持つた。日南町でも環境教育の取組をされてみたらよいと思う。



道の駅にちなん日野川の郷裏の特設会場
 においては林業機械取扱説明、高性能林業
 機械の展示、林業関係機械類、刃物類の販
 売などありました。お昼には林業研究会女
 性部による豚汁・おにぎりがふるまわれま
 した。また、鳥取県東部森林組合の塚本耕
 司職員、栗田亮職員による日本伐木チャン
 ピオンシップ競技種目のデモンストレー
 ションが行なわれ、会場に来場されたみな
 さんは感心した様子で見えておられました。



特設会場の様子



ソーチェン着脱競技



枝払い競技



丸太合わせ輪切り競技

デモンストレーションの様子

第1回

日南伐木チャンピオンシップ

参加者18名でチェンソーを使用した「丸太合わせ輪切り」「接地丸太輪切り」の競技が行なわれました。丸太合わせ輪切りは7度の傾斜角度で設置してある直径35cmの丸太を下部から先に赤いライン内まで切り、次に上部の青いラインから切り落とす競技です。接地丸太輪切りは、丸太と丸太の下に敷いてある板が接地している部分をおがくずで3cm覆い隠して接地面ぎりぎりまで丸太を切ることが出来るかの競技です。丸太の下に敷いてある板を切ったら減点です。この2つの競技を続けて行い技術・速さ、正確さ、安全な取り扱いが出来るかを含め、得点を競いました。(競技は日南町ローカルルールで行なわれました。)参加者からは「面白かった」競技を見た人からは「来年は事業所対抗で行なってみてはどうか」などの声がありました。

競技結果 (敬称略)

- 優勝 久代善平 (日南町森林組合)
第2位 面田洋一 (株式会社グリーン・シャイン)
第3位 船越翔悟 (株式会社グリーン・シャイン)

丸太合わせ輪切り競技



接地丸太輪切り競技



理事会開催報告

平成28年度第4回理事会

(平成28年8月6日)

協議事項

- ① 株ウッドカンパニーニチナンについて
- ② 日南町森林資源総合活用計画について
- ③ その他

平成28年度第5回理事会

(平成28年9月26日)

協議事項

- ① 日南町森林資源総合活用計画について
- ② 株ウッドカンパニーニチナンについて
- ③ 固定資産取得について
- ④ 契約締結について
- ⑤ 日南町森林組合諸規程の制定並びに改正について
- ⑥ 補助金精算システムソフト更新について
- ⑦ その他

平成28年度第6回理事会

(平成28年11月7日)

協議事項

- ① 平成28年度上半期決算並びに決算見込みについて
- ② 職員休職について
- ③ 役員賠償責任保険加入について
- ④ 固定資産の取得並びに処分について
- ⑤ 早生樹の植栽試験について
- ⑥ 株ウッドカンパニーニチナンについて
- ⑦ その他

日本財団鳥取県人材育成プログラム「平成28年度オーストリア林業研修」報告

作業班長 久代善平

今年8月31日から9月12日までの約2週間オーストリアへ林業研修に行ってきました。現地では2日間林業機械展への視察、1週間はオシアツハ森林研修所での研修でした。

オーストリアとは林業国の多い欧州の中でも特に地形が急峻でありながら林道整備と機械化により低コスト林業を実践しています。また、観光に次いで林業・木材産業が第二の産業であり、小規模ボイラーによる地域熱供給など木質バイオマスの利用でも先進国です。多くの国民が木材と密接に暮らしている林業先進国でもあります。

大型の林業機械がどんどん山に入っていく、ほぼ完全機械化で作業しているイメージがあるオーストリアでの林業ですが、タワーヤーダや、小規模農林家のトラクターでの作業が多くありました。林道の路網密度は日本の14m/ha に対しオーストリアでは45m/ha と多いのに対して作業道の開設には厳しい基準があります。わずか15度の傾斜でも環境面から作業道を開設することが出来ないのです。そのため環境に配慮した点からもタワーヤーダが多く取り入れられていました。



オシアツハ森林研修所では、初心者は1週間程度基本的な研修を受ける事になっています。日本では2日程度です。特に安全性の部分では重きをおいていました。また、班長のような現場を指導する方が受ける研修というのもあります。オーストリアでは昔から緊急連絡カードがあり、20年以上前から防護服は義務化されています。安全面や万が一の事故を最小限に抑えることを徹底しています。日本での緊急連絡カードの導入は鳥取県が初だそうです。大きな事業所は取り入れ始めていますが、小さな事業所や一人親方のところでも取り入れていくことが大事かと思えます。



また、オーストリアは情報交換が盛んでした。日本の場合、ベースマシンは建設用のものに林業用アタッチメントをつけるものが主流ですが、オーストリアではベースマシンから林業仕様のもものがほとんどで、機械メーカーへ機械の改善点などを日常的に話をされていますし、同業者間での作業システムの情報交換も多く行われているようです。我々の場合でも、班長などが他の会社の人と作業システムや機械の注意点などの情報交換などが増えれば、良いところは取り入れることがもっと出来るのではないのでしょうか。



最後に厳しい環境基準での作業をクリアしつつ徹底した安全作業、シンプルかつ高い作業システム。相反するようにも見える安全性と生産性の両立を、長い歴史のあるオーストリア林業から勉強させて頂きました。



森林組合作業班紹介

林産班



久代班 右より久代善平作業班長、太田満也作業員、飯塚展作業員、青戸一也作業員、山形篤司作業員の5名です。間伐・皆伐・作業道開設を行なっています。

造林班



福岡班 右より見田勝彦作業員、福岡正純作業班長、吉川善明作業員の3名です。植付・下刈り・枝打・保育間伐を行っています。

職員募集

森林組合では職員を募集しています。平成29年4月1日採用予定です。

40歳以下の方を対象としております。仕事の内容は申請手続き等の事務作業及び測量です。

詳しくはお近くのハローワークまでお問合せ下さい。(ハローワーク根雨 電話 0859-72-0065)

もうすぐ期限がきます。

出資配当金の手続きはお済みですか？

平成25年度出資配当金について、手続きされていない組合員の皆様に12月22日に再案内をしています。増資または、配当金をお受取されるかご連絡頂くようお願いしております。

尚、平成25年度の出資配当金お支払い期限は**平成29年5月26日まで**です。

組合員の名義変更等について

亡くなられた組合員の方の名義の変更がまだの方は森林組合までご連絡いただきますようお願いいたします。届出用紙をお送りいたします。

また、引越しをされてご住所が変更になられた方も森林組合までご連絡いただきますようお願いいたします。

年末年始の休業 12月29日(木)～1月4日(水)まで

グリーンコミュニティー No.144

発行	日南町森林組合
発行日	平成28年12月
発行責任者	平田 広志
印刷	株式会社 高下印刷